

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スマイルブーク放課後等デイサービス たんぽぽハウス			公表日	
					2025年4月28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		指定基準の3倍以上の面積を確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	1	職員 1 名で 3 名以内の利用者さんを支援数配置がされている。利用者さんの状況でマンツーマン体制での支援を行っている。	休憩時に人数不足を感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		ワンフロアタイプの構造で見通しのいい空間になっている。防犯カメラも設置している。階段は職員がフォローしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		日々、サービス前後に清掃、整理整頓を行い清潔な環境作りを心掛けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		利用者さんが一人になりたい際、いつでも確実に使用できる個別空間はないが状況に応じて別の空間を使用することが認められている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	半年に一度見直している個別支援計画に沿いながら日々の状況確認等を行っています。支援の統一や改善に向けて振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		ホームページやブログで、評価の公表を行っています。引き続き検討、改善に繋げていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		職員による個別支援会議（1回/月）にて意見交換を行い、検討、改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	7	外部評価は行っていません。	外部識者からの助言をいただいています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	3	研修に参加しスタッフそれぞれの専門性、支援の質を高めていけるように動めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		保護者様と面談を行い、個別支援計画書を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		個別支援計画の原案を基にした意見交換、情報の共有を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		個別支援計画をスタッフがすぐに確認できるようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		利用時の様子など個別に記録しています。職員がいつでも確認できるようにしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に沿った支援内容を踏まえ、必要に応じて個別支援計画に反映、設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		職員の意見も交えて立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		毎日、違うプログラムを実践しており、定期的に新しいプログラムも導入している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		利用者の状況を踏まえ、集団活動も個別支援を行うなどしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		その日の活動内容やスケジュール、利用者の様子などを共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		サービス終了後にミーティングを行い、共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		個別に記録を取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		保護者様との面談を行い、必要に応じて個別支援計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		複数の基本活動を組み合わせ、生活力の向上や社会性・創造力を育む支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	2	活動の中で自己選択する場面を設けながら支援しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		必要に応じて関係機関との連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		学校の行事予定を確認している。保護者からも情報提供がある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2	必要に応じて行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		学校や相談支援員さんを通じて行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1	外部の研修には積極的に参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	3	交流する機会は設けていませんが、地域の行事や公園で接する機会はあります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4	自立支援協議会へ参加はしていませんが、障害児通所支援事業所連絡会には参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		日々の連絡帳や公式LINE、電話、送迎の際などの機会を通じてお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4	保護者様向けの研修会、ペアレントトレーニングは実施できていませんが、相談があった場合にはその都度支援を行っていくように努めています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		ご契約時に説明させていただいております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		日々の連絡帳や公式LINEでのやり取り、個別支援計画作成の面談時に話し合いを重ねています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		面談の際や交付の際に同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		連絡帳や公式ライン、電話等発信していただきやすい環境作りに努めています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9		「不要」という意見が多いため実施していません。	保護者会やきょうだい児支援について、ご要望をお伺いしながら今後の課題としていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するように努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、ご契約時に説明しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		活動の様子はブログをUPしています。ご利用時に写真をお送りしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		契約時、SNSへの顔出しの可否を保護者に確認しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		視覚支援や行動から読み取るなど、それぞれの利用者の意思表示の仕方をスタッフが理解し、相互の伝達方法に配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	行事を設け招待することはないが、地域のイベントに招待された時には参加させていただきたいです。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	3	各マニュアルを策定しています。月に1度地震や火災を想定した避難訓練を実践している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		防災訓練、防災学習を行うと共に、防災センターへのお出かけプログラムも企画しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		アセスメントシートに保護者様にご記入していただき確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	5	アレルギーのある利用者さんがおられません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練などを実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		ご契約時や面談時に行い、周知に努めています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハットがあった時にはファイルに記入し、いつでも閲覧・確認ができるようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		内部研修及び外部研修にスタッフが参加しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		身体拘束の必要性などを検討する場を設けており、対象の利用者、保護者様には説明、同意を得た上で個別支援計画書に記載しています。	